

全国の**最先端**をリードする

久喜市のGIGAスクール

～「久喜市版未来の教室」の実現に向けて～



新年のごあいさつ

特集

全国の**最先端**をリードする

久喜市のGIGAスクール

～「久喜市版未来の教室」の実現に向けて～

▲プログラミングロボット「Root」を使った
算数における作図の様子



▲鷲宮中学校の授業風景

全国の最先端をリードする 久喜市のGIGAスクール ~「久喜市版未来の教室」の実現に向けて~

2. 個別最適な学びの提供
さまざまな学習支援アプリを導入し、学習を端末上で行うことで、児童・生徒ごとにデータを蓄積し、個人の理解度に合わせて問題を出題するなど、一人ひとりに合わせた教育環境を提供しています。また、児童・生徒が実際に学習している端末の画面を確認するアプリを活用し、場所を問わず教職員が一人ひとりの学習状況を把握できるようになっています。

1. オンライン教育の実施
新型コロナウイルス感染症の感染拡大などといった緊急時でも、自宅からインターネットを通じて学校の授業に参加できる、オンライン授業を実施しています。また、今年度より中学校不登校の生徒を対象とした、オンライン上の教室「久喜市共同オンライン分教室（略称「KDX」）」を設置し、Googleの提供する教育用アプリを活用するなど、誰一人取り残さない教育を推進しています。

市では、国のGIGAスクール構想（児童・生徒1人に1台の端末と高速ネットワークを整備する取り組み）を踏まえ、「久喜市版未来の教室」と名付けた、4+1のコンセプトにより最先端の取り組みを進めています。

4. 校務の効率化
最新技術やデータの活用により、校務（授業を除いた教職員の事務全般）の効率化を推進し、教育環境の改善や教育の質の向上を図っています。

3. STEAM化された学びの提供
STEAM教育の一層の充実を図るため、令和4年度から多様なプログラミング教材を活用した学習（次ページで紹介）がスタートしています。また、地域や企業と連携し、「社会とつながる学び」「問題解決型学習」「探究的な学び」にも力を入れています。

「STEAM教育」

Science (科学)
Technology (技術)
Engineering (工学・ものづくり)
Art (芸術・リベラルアーツ)
Mathematics (数学)

文部科学省が推進する教科横断的な学習のことで、実社会での問題発見・解決に必要な汎用的な能力を育みます。

11
その他、教職員のニーズに応じた各種研修を行っています。

変化の激しい時代を生き抜く子どもたちには、学んだ結果としての学力だけではなく、学び続けるための意欲と学び方のスキルが求められます。学習者用端末の日常的な活用を通し、学び続ける強い意思、自分の学びを自ら組み立てる力、溢れる情報をうのみにしない力を持ち、議論や対話を通してより良い納得解を構築していく姿勢を育てることが必要です。

東北大学大学院情報科学研究科
教授 堀田 龍也さん

新年のごあいさつ



未来につなぐ新たなスタートを

久喜市長 梅田 修一

市民の皆様におかれましては、夢と希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。私は、昨年4月に執行されました久喜市長選挙において、大変多くの市民の皆様から温かいご支援、ご信任を賜り、引き続き久喜市政をお預かりさせていただくことになりました。新年を迎え、改めてその責任の重さに身の引き締まる思いであります。

昨年は、本市の取り組み「地域内連携やデジタル技術を活用したスポーツ・健康まちづくり！—久喜市健幸・スポーツ都市プロジェクト—」が、スポーツ庁の「スポーツ・健康まちづくり優良自治体表彰2022」を受賞しました。これは埼玉県内初の快挙であり、「健幸・スポーツ都市宣言」に関する計画を高く評価いただけたものと嬉しく思っております。

そして、本年は、今後10年間のまちづくりの指針となる「第2次久喜市総合振興計画」がスタートいたします。

久喜市を取り巻くさまざまな課題にしっかりと向き合い、SDGsの理念を取り入れて策定した本計画の各種施策を力強く推進してまいります。本市の新たな将来像「人が笑顔 街が元気 自然が豊か 久しく喜び合う住みやすいまち 久喜」の実現に向け、全力で取り組んでまいりますので、なお一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、市民の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。



ウィズコロナ・アフターコロナの時代へ

久喜市議会議長 柿沼 繁男

市民の皆様におかれましては、輝かしい新年を迎え、健やかに過ごしのことと心よりお慶び申し上げます。また、平素より市議会に対し、温かいご理解とご協力をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

年頭にあたり、市議会を代表して、謹んでごあいさつを申し上げます。昨年は、長引くコロナ禍にありながらも、社会経済活動が再開し、ウィズコロナ・アフターコロナの時代に向けた進展が見られたことは、喜ばしい限りでございます。

本年も、引き続き、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期すとともに、市民の皆様の声に真摯に耳を傾け、社会情勢を的確にとらえた上で、市民福祉の向上と地域経済の回復に向け、全力で取り組んでまいります。

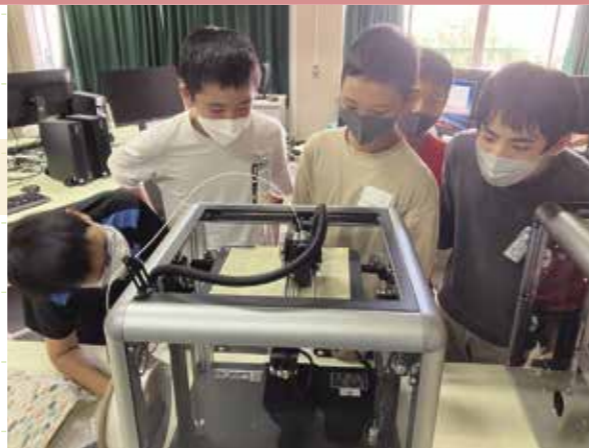
議員一同、これからも緊張感を持って、より質の高い議会を目指すとともに、「住んでよかった」「住みつけたい」と実感できるような安全・安心なまちづくりの実現に向けて、鋭意努力してまいります所存でございます。

どうか皆様の変わらぬご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。結びに、新しい年が市民の皆様にとりまして、幸多き年でありますとともに、皆様のご健勝を心より祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。



Intel STEAM Lab 実証研究校

砂原小学校と久喜中学校では、Intel社より実証校指定を受け、学びの核となる「Intel STEAM Lab」が設置され、高性能パソコンや3Dプリンターなどを活用した学びを推進しています。



現在久喜市の小・中学校で展開されているSTEAM教育は、楽しくて、何かをみんなで創り出す学びが溢れています。そして、実社会の中で生きる学びを培います。高性能パソコンや3Dプリンターなどを活用した学びが、子どもたちのイノベーションを支えています。



砂原小学校長
飯野 純子さん

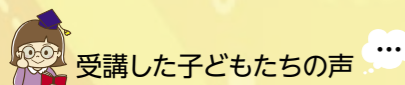
教科という枠に仕切られたこれまでの学びから、教科の枠にとられない教科を横断した探究型の学びに変化していることを実感します。この「Intel STEAM Lab」から久喜中学校に新しい学びの形が生まれつつあります。



久喜中学校長
木村 信之さん

Google for Education×久喜市 次代を担う子どもたちの育成に向けた「久喜市ジュニアICTリーダー育成プロジェクト」がスタートしました！

11月19日、鷺宮総合支所でGoogle認定トレーナーを講師とし、第1期生62名がプレゼンのコツやICTスキル等について楽しく学びました。未来を担う子どもたちに必要な力を、学校だけでなく、市全体で育んでいきます。



受講した子どもたちの声

※Google社の教育プログラムの総称。クローズドブックや教育機関向けにカスタマイズされたGoogleのツール・サービスなどを提供している。



栗橋小学校 5年 杉本 方湊さん

パソコンがもともと好きで、知らなかったことも知ることができて、良い経験になりました！



砂原小学校 5年 細川 敬太さん

自己紹介を一番はじめにアピールできてよかったです。プレゼンでのコツを学校で実践していきたいと思います。



鷺宮中学校 2年 石平 波凧花さん

Googleのさまざまな機能やツールを知ることができました。学んだことを校内や市内の他の学校にも広げ、スキルやリテラシーをさらに高めていきたいです。

将来の予測が困難なこの世界を生きる久喜市の児童・生徒の皆さんには、ジュニアICTリーダーの取り組みを通して、社会のさまざまな課題を発見・解決できる力を身に付けるきっかけを見つけてもらえたらうれしいです。



Googleパートナー自治体プログラム
Google for Education 市場開発部/
顧客戦略部 部長 上原 玲さん



令和4年度よりSTEAM教育をより一層充実するため、多様なプログラミング教材を活用した「GIGAスクールLab」の取り組みがスタートしています。総合的な学習の時間を中心に活用が進んでいます。

アーテックロボでプログラミング

モーターやセンサーを組み合わせ、プログラミングしたロボットを動かす学習



プログラムを組みロボットを動かすことが楽しいです。より高度なプログラムを作れるよう練習します！

鷺宮東中学校 2年 石川 春樹さん

3Dプリンターでモノづくり

設計ソフトを使って創作したものを3Dプリンターで出力する学習



▲3Dプリンター

自分の思いを端末で設計して立体的に表現することができたので、驚きました。

栢間小学校 4年 田中 優衣さん

マイエコバッグ作り

プログラミング等でデザインを作成し、孔版印刷用機材「MiScreen a4」で制作するプロジェクト型学習



▲MiScreen a4

わくわくしながら友達とつくりました。大人になっても使いつづけたいです。

青毛小学校 2年 鶴巻 夏穂香さん

ドローンプログラミング

ドローンの動きをプログラミングで制御する、問題解決型プログラミング学習



友達と協力して浮いた時や頭の中で想像した通りにドローンが動くのが楽しかったので、またやってみたいです。

清久小学校 5年 渡部 愛菜さん

ロボットプログラミング

プログラミングロボット「Root」の動作を自分たちで設定し、ホワイトボード上で動かしたり、作図したりする学習



プログラミングで楽しかったことは、友達と協力し、失敗してしまったところを改善して、成功できたことです。

東鷺宮小学校 6年 松島 知穂さん

久喜市教育研究委員会

⑤学力向上推進研究委員会

予測困難な時代に必要「未来を拓く力」を育成するため、主体的・対話的で深い学びの授業研究・改善の方法について研究を進めています。

発問の工夫や授業改善を通じて、自ら問いを見出し、主体的に問題を解決する生徒を育てていきたいです。



井上教諭
(久喜中学校)

⑥道徳教育研究委員会

市全体で道徳教育を推進できるよう、研究を進めています。

中学校区全体で児童・生徒の豊かな心を育めるよう、指導の重点や取り組み、授業改善について話し合い、各校で実践を進めています。



谷合教諭
(江面小学校)

⑦SDGs実現のためのESD研究委員会

全ての小・中学校で「持続可能な社会を実現していくための教育(ESD)」に取り組み、SDGsの視点を取り入れた授業の在り方について研究しています。

地域や企業と連携し、地域の資源を使い、小屋を建てたり、大風を揚げたりする体験を通してESDに取り組んでいます。



高柳教諭
(栗橋西小学校)

②STEAM教育研究委員会

「なぜ?」「創りたい!」といった、「?」や「!」に溢れた学びを推進するチームです。子どもたちがワクワクするような探究的な学びを研究しています。

教科の枠を越えた学びで「未来のイノベーター育成」に取り組んでおり、STEAM教育はまさにその追い風です。それぞれの教科の良さを紡ぎ合わせた学びへ、より本質的な学びの風が、久喜市の学校に吹き始めています。



西潟教諭
(青毛小学校)

③未来の公教育研究委員会

ICTリテラシーの向上と校務の効率化・自動化を進めています。

ICTを活用して汎用的・効率的な校務支援システムを試験的に開発し、持続的に発展させようとする文化の構築を目指しています。



船津事務主任
(久喜東小学校)

④社会科副読本研究委員会

小学校3・4年生が使用する社会科副読本の改訂や「くき検定」等の取り組みを行っています。

郷土に対する誇りをもつことができるような副読本や評価問題等の作成を行ってきました。今年度は、副読本のデジタル化を目指しています。



小澤教諭
(三箇小学校)

市ではICT教育をはじめ、さまざまな教育課題に対する取り組みを、有識者の方の意見も頂戴しながら前進させるための組織として、市内小・中学校の教職員が委員となっている7つの研究委員会があり、約160人の教職員が委員になっています。その取り組みの一部を紹介します。

①久喜市版未来の教室研究委員会

・メタバース体験会

学校以外の学びの場として、「アバター」と呼ばれる自分の分身を動かし、仮想の教室で学習する仕組みです。



仮想空間内で、人と繋がることができる良さを感じました。今後の教育の可能性を探ってみたいですね。



清水教諭
(栗橋南小学校)

・文部科学省実証推進事業の情報共有

令和4年度は市内2校の実施状況を、市内全ての学校で情報共有しています。

ー江面小学校ー

「次世代の学校・教育現場を見据えた先端技術・教育データの利活用推進事業」に参画しています。

江面小では対話や協働を通じた授業改善を進めています。子どもたちは、相手の話を興味・関心をもって聴き、考えを理解しそれに対する自分の思いや考えを伝えることができるようになってきました。



朝武紀雄さん
(江面小学校長)

子どもたちへ。人と話し合いながら考えていると、いつの間にか考えが変わっていることではないかな?それが学ぶということ。だから、これからは対話で考えをよくしていこう。



白水始さん
(国立教育政策研究所 総括研究官)

ー久喜小学校ー

GIGAスクールにおける学びの充実「情報モラル教育推進事業」研究指定校として、「デジタル・シティズンシップ教育」に取り組んでいます。

より良いデジタル社会を創造し、主体的に参画していく力の育成に向け取り組みを進めています。



青山里美さん
(久喜小学校長)

GIGAスクール構想と併せて注目されている「デジタル・シティズンシップ」は、「デジタル技術の利用を通じて、社会に積極的に関与し、参加する能力」と定義されています。情報端末やネット利用は大人も子どもたちにも、日常生活に不可欠なものとなっています。さまざまな場面でのデジタル技術の利用を前提とすれば、これまでの情報モラルで扱ってきたような利用の制限・禁止よりは、むしろ、子どもたちによる創造的・社会的な日常活用を促し、自律と課題解決の力を育てることが求められています。子どもたちの技術スキルは自然と身に付くものですが、デジタル世界での社会性や倫理を身に付ける場面は限られています。成長の段階に合わせて、それぞれが抱えるデジタルのジレンマ課題を丁寧な対話を通じて、学校で育てていくことが大切です。



国際大学グローバルコミュニケーションセンター 准教授・主幹研究員
豊福 晋平さん



▲久喜小PTA向けに講演した内容

・Google本社(渋谷ストリーム)研修会



▲研修会に参加したメンバー

オフィス見学を通し、働き方・職場のあり方の固定概念が大きく変わりました。授業事例の共有やGoogle社講師の方による研修会では、大いに刺激を受けました。



澤田教諭
(菟浦中学校)

・Google認定教育者資格取得研修会

Google for Educationの活用スキルを証明する資格です。

資格を取得し、久喜市の教育の前進に貢献できるよう頑張ります!



福原教諭
(太東中学校)

・デジタル教科書の活用実践事例の共有

久喜市では、小学校5・6年生や中学生の教科の一部に導入されています。

子どもたちの学習意欲が向上し、コミュニケーションを取りながら学びを深め、学力の向上につながっています。



渡辺教諭
(久喜東小学校)

学習者用デジタル教科書は教師が教え込む授業から子どもたちが主体的に学びとる授業への転換のきっかけになると考えています。



中川一史さん
(放送大学 教授)



日本ICT教育アワード
今後のICT教育のモデルケースとしてふさわしい自治体の取り組みを顕彰することを目的としています。
今回は、79自治体から応募があり、初の応募となった久喜市は「次代の世界で活躍する、未来を拓く力」を育む「久喜市版未来の教室」の実現に向けた取り組みが評価され、表彰されました。

第5回「日本ICT教育アワード」
全国ICT教育首長協議会会長賞・
日本視聴覚教育協会会長賞 W受賞!

この度は、受賞おめでとうございます。私も、この審査に関わっていますが、久喜市の取り組みは、教育を改革しようという意気込みが素晴らしいのです。そして同時に、地域文化と人としての教師の良さを生かすということが魅力なのです。

久喜市のICT教育の取り組みの柱である「久喜市版未来の教室」の実現に向けた取り組みが評価されましたこと、誠に嬉しく思います。各学校の先生方のご努力、保護者の皆様のご協力、そして何より子どもたちの学ぶ力の結果です。今後も、学校、家庭、地域と連携し、未来を拓く力を育み、誰一人取り残さない教育の実現に向けた取り組みを進めてまいります。

国全体で、教育環境のICT化推進やデジタル社会を担う人材育成が求められる中、久喜市のICT教育が評価されました事、大変光栄に思います。引き続き市民の皆様のご理解、ご協力を賜りながら、教育委員会と綿密に連携し、未来の久喜市を担う子どもたちが笑顔一杯に過ごせる教育環境の充実に一層努めてまいります。



東京工業大学名誉教授
あかほり 侃司
赤堀侃司さん
(審査員)



かきぬまみつお
柿沼光夫教育長



うめだしゅういち
梅田修一市長